



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月12日

上場会社名 新潟交通株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9017 URL <http://www.niigata-kotsu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 丈二
 問合せ先責任者（役職名） 総務部長（氏名） 今城 哲 TEL (025)246-6335
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績〔累計〕

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期 第1四半期	4,912	△9.0	184	△48.1	△55	—	△118	—
23年3月期 第1四半期	5,399	△6.4	355	△10.4	83	△24.4	77	26.6

（注）包括利益 24年3月期第1四半期 △118百万円（－％） 23年3月期第1四半期 74百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期 第1四半期	△3.10	—
23年3月期 第1四半期	2.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期 第1四半期	63,672	9,521	15.0
23年3月期	63,618	9,639	15.2

（参考）自己資本 24年3月期 第1四半期 9,521百万円 23年3月期 9,639百万円

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年 3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年 3月期	—				
24年 3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,100	△6.3	400	△30.8	△90	—	△240	—	△6.30
通期	20,400	△4.3	1,300	△15.0	240	△45.4	110	△45.2	2.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ② 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	38,640,000株	23年3月期	38,640,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	590,540株	23年3月期	590,540株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	38,049,460株	23年3月期1Q	38,057,149株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力災害の影響に伴う生産活動の停滞や消費の冷え込み等により厳しい状況で推移しました。また、電力供給の制約や原油高の影響に加え、海外経済の回復が更に緩やかになること等により、景気が下振れするリスクが存在し、先行き不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループは、基幹の運輸事業において非接触型ICカード「りゅーと」のサービスを新潟市内の一部路線で開始(4月24日～)するなど、積極的に事業を展開してまいりました。

しかしながら、東日本大震災や原子力災害が当社グループに与えた影響は大きく、特に、旅行や観光の自粛ムードの広がりにより、旅行業や貸切バス部門、旅館事業や観光土産品販売部門等の観光関連事業の業績が大きく下振れました。この結果、不動産事業と航空代理業を除く、すべての事業において前年同期比減収となりました。

経費面では、燃油価格の高止りにより厳しい状況で推移しましたが、その他の経費を徹底的に見直し、一層の削減に努めました。

この結果、総売上高は、4,912百万円(前年同期比9.0%減)、営業利益は184百万円(同48.1%減)、経常損失55百万円(前年は経常利益83百万円)、四半期純損失は118百万円(前年は四半期純利益77百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

○運輸事業

乗合バス部門では、新潟駅と古町間を100円で結ぶ「ワンコインバス(4月29日～6月12日の土休日)」を行政との連携により昨年度の1路線から3路線に拡大したほか、一部路線でダイヤの見直しを着実に図るなど、ご利用されるお客さまの利便性改善に努めました。しかしながら、震災影響による出控えや、昨年度の地元百貨店閉店セールに伴うバス利用特需の剥落等により、前年同期比減収となりました。

高速バス部門では、東京高速バス期間限定割引キャンペーン(5月9日～7月28日)を実施したほか、長岡や高田・直江津線で土休日限定の往復割引乗車券(3月15日～7月10日)を販売したものの、震災影響による出控え等により前年同期比減収となりました。

貸切バス部門では、震災によるバス旅行のキャンセルや自粛等により、極めて厳しい状況で推移した結果、前年同期比減収となりました。

この結果、運輸事業の売上高は2,344百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

○不動産事業

不動産事業では、「BP2」において子会社(株)万代開発が1万点以上のレトロな日用品やおもちゃのコレクションを展示する「昭和嗚呼懐物(アーカイブス)万代パビリオン(4月16日～)」の運営を開始するとともに、同所にて「ダブルライダーファンミーティング」や「鉄道模型運転会」等のタイアップイベントを随時開催したほか、昨年度に引き続き「万代シテイ アースフェスタ2011(5月3日～5日)」を開催し約10万5千人を動員するなど、万代シテイの集客力強化に努めました。これらの施策等により、駐車場収入や各テナントからの賃料収入は好調に推移し、不動産事業の売上高は749百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

○商品販売事業

主力の観光土産品販売部門では、県立万代島美術館で開催された「いもとようこ 絵本原画展(4月22日～6月19日)」等、好評を博した展示が多く、直営売店の売上が好調に推移したほか、「キリンカップサッカー 日本代表対ペルー代表戦(6月1日)」等の各種イベントにも積極的に臨時売店を出店し売上増強に努めました。しかしながら、震災に伴う観光地への出控えにより観光関連商品の売上が伸び悩み、前年同期比減収となりました。その結果、商品販売事業の売上高は536百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

○旅館事業

佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」では、婚礼プランの販売強化により婚礼売上こそ好調に推移したものの、震災に伴うツアーのキャンセルや新規設定の見送り等の影響は大きく、前年同期比減収となりました。

新潟市内の「万代シルバーホテル」では、「初夏のご宴会プラン(5月1日～6月30日)」「納涼会スペシャルプラン(6月1日～9月30日)」等の企画により集客強化を図りましたが、震災に伴う宿泊・宴会のキャンセルや自粛等により、前年同期比減収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は455百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

○その他事業

旅行業では、震災に伴うキャンセルの大量発生や旅行自粛による新規受注の伸び悩み等により、極めて厳しい状況で推移しました。これに対して、「くれよん万代 7周年企画」や「被災地復旧ボランティアツアー」、節電をテーマにした「高原へのエコツアー」等の商品を造成し、販売強化に努めました が、挽回するまでには至らず前年同期比減収となりました。

航空代理業は概ね前年同期並みの売上を確保したものの、その他の清掃事業、広告代理業、人材派遣業は厳しい事業環境の中で推移した結果、前年同期比減収となりました。

この結果、第1四半期における、その他事業の売上高は826百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期の総資産は、現金及び預金、売掛金の増加と未収入金の減少や減価償却による有形固定資産の減少したことなどにより、前期末に比べ53百万円増加し、63,672百万円となりました。

負債は、買掛金、未払金の増加や借入金の返済などにより、前期末に比べ171百万円増加し、54,150百万円となりました。

また、純資産は、四半期純損失118百万円計上による利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ118百万円減少し、9,521百万円となり、自己資本比率は15.0%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、東日本大震災により合理的な算定が困難なことから公表しておりませんでした。最近の事業環境及び今後の業績動向を踏まえ業績予想を公表いたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年8月12日）公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(ポイント引当金)

当連結会計年度より、当社運輸事業において非接触型ICカードのサービスを開始し、利用顧客に対しポイント制を導入することから、付与されたポイントの利用に備えるため、当第1四半期連結会計期間末において将来使用されると見込まれる額を流動負債の「その他」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,625,255	2,283,471
受取手形及び売掛金	983,601	1,201,918
商品及び製品	176,513	202,118
原材料及び貯蔵品	145,667	132,304
その他	1,096,103	631,691
貸倒引当金	△26,722	△28,931
流動資産合計	4,000,417	4,422,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,633,663	14,418,719
土地	41,017,390	41,023,971
その他(純額)	2,478,722	2,354,561
有形固定資産合計	58,129,776	57,797,252
無形固定資産	283,386	277,620
投資その他の資産	1,205,410	1,174,921
固定資産合計	59,618,572	59,249,795
資産合計	63,618,990	63,672,368
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	734,848	862,680
短期借入金	19,301,820	18,340,856
未払法人税等	82,578	35,259
賞与引当金	148,282	94,609
その他	2,250,708	2,803,204
流動負債合計	22,518,237	22,136,609
固定負債		
社債	160,000	160,000
長期借入金	21,403,327	22,156,162
再評価に係る繰延税金負債	6,100,009	6,100,009
退職給付引当金	380,839	366,895
役員退職慰労引当金	337,611	242,574
その他	3,079,040	2,988,283
固定負債合計	31,460,828	32,013,924
負債合計	53,979,065	54,150,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,800	4,220,800
資本剰余金	2,941,409	2,941,409
利益剰余金	△5,253,376	△5,371,449
自己株式	△99,881	△99,881
株主資本合計	1,808,952	1,690,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,887	△13,904
土地再評価差額金	7,844,860	7,844,860
その他の包括利益累計額合計	7,830,972	7,830,955
純資産合計	9,639,925	9,521,834
負債純資産合計	63,618,990	63,672,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,399,194	4,912,428
売上原価	3,873,337	3,641,878
売上総利益	1,525,856	1,270,550
販売費及び一般管理費	1,170,312	1,086,054
営業利益	355,544	184,496
営業外収益		
受取利息	636	492
受取配当金	2,943	3,364
持分法による投資利益	—	12,626
保険解約返戻金	—	14,138
その他	6,033	5,944
営業外収益合計	9,613	36,565
営業外費用		
支払利息	278,826	271,941
持分法による投資損失	354	—
その他	2,425	4,143
営業外費用合計	281,606	276,085
経常利益又は経常損失(△)	83,551	△55,023
特別利益		
前期損益修正益	1,455	—
固定資産売却益	215	120
補助金収入	12,916	5,608
契約外賃貸収入	16,075	2,755
退職給付引当金戻入額	33,772	—
その他	23,846	109
特別利益合計	88,281	8,593
特別損失		
固定資産売却損	959	127
固定資産除却損	4,450	2,470
退職給付引当金繰入額	—	7,521
その他	1,336	1,462
特別損失合計	6,745	11,581
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165,087	△58,011
法人税、住民税及び事業税	62,671	27,631
法人税等調整額	25,040	32,430
法人税等合計	87,711	60,062
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	77,375	△118,073
少数株主利益	104	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77,271	△118,073

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	77,375	△118,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,054	△17
その他の包括利益合計	△3,054	△17
四半期包括利益	74,320	△118,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,217	△118,091
少数株主に係る四半期包括利益	103	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品 販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,596	727	633	519	4,477	921	5,399	—	5,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	135	21	6	205	182	388	△388	—
計	2,639	863	654	525	4,683	1,104	5,787	△388	5,399
セグメント利益又は 損失(△)	△49	298	36	10	296	58	355	0	355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品 販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,344	749	536	455	4,085	826	4,912	—	4,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	126	12	7	185	167	352	△352	—
計	2,383	875	548	463	4,271	993	5,265	△352	4,912
セグメント利益又は 損失(△)	△231	343	27	2	141	42	184	0	184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。